

育てよう 笑顔とふれあい 鶴の里

公民館



◀開会式では、今年の町民文化祭のテーマ「育てよう 笑顔とふれあい 鶴の里」を考えた成田ちさとさん（富士見小学校6年）の表彰が行われました。その後はやせ保育園児による鼓笛隊と鶴田小学校三味線クラブの演奏が披露され、文化祭が始まりました。

▶昔の遊び体験スペースでは子どもたちが、将棋、オセロ、ペットボトルボーリング、空き缶積みなど昔ながらの遊びを楽しみました。そのほかにも、菖蒲川小学校・富士見小学校PTA主催の子ども教室では、ペーパークラフト、ストーンアート、くす玉作り体験を開催。



11月17日（金）～19日（日）の日程で、鶴田町町民文化祭が開催され、全会場合わせて約20,000の方が来場しました。

8カ所の会場（公民館・体育センター・武徳館・鶴遊館・生きがいセンター・国際交流会館・豊明館・道の駅あるじゃ）では、さまざまな作品の展示やイベントが行われ、町民の目を楽しませてくれました。各会場の様子を写真で紹介します。

▼町民教養講座の生徒さんたちの作品が数々展示されました。



体育センター



▲ワールドイン鶴田では、ジェニファーさんの手作りスープが大好評！
※レシピが欲しい方は企画課まで

▼書道作品の展示



▲小学生の書画・創作品の展示

国際交流会館



◀ステージでは文化協会の方々の舞踊、民謡、三味線、太鼓など盛りだくさんの芸能が発表されました。

▼ホールには、『安全安心まちづくりコーナー』と『消防コーナー』が設置され、クイズを通して、活動のPRをしていました。



生きがいセンター



▲陶芸教室の生徒さんたちの作品の展示や電動ろくろの体験、つるた焼きの販売が行われました。

豊明館

▼農産物展では、農家の皆さんが丹精込めて育てた農作物が展示され、審査されました。



第25回 鶴田町町民文化祭



道の駅『あるじゃ』

▶北地方産直ネットワーク協会主催の『北地方産直の日』が開催され、朝早くから多くの買い物客でにぎわいました。

◀菖蒲川小学校児童は自分たちで育てたリンゴをジュースやジャムに加工して販売しました。



▶富士見小学校児童は、コメ、リンゴ、ジャガイモなどを販売。商品を手に敷地内を回りながらPRしました。

◀梅沢小学校児童も、リンゴジュースやジャム、箱詰めのリンゴを販売。軽トラックでまとめ買いをしたお客さんもいました。

